

バストス週報

第八四六号
昭和四十一年
七月廿二日
発行

DIRETOR
KOITI MURI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. POST. 112
FONE. 40
BASTOS
C.P.
ANUAL
CR. #
4.000

青嵐 27

永遠の故郷

バストス開植四十年の峠がもうすぐ目
睫に迫って来た。あと二年。今一峯の頂
に辿りついて四十年の峻峯を仰ぎ、ふり
かえって茫乎とかすむ三十八年過去一連
の足跡を想起することはバストス人とし
て感懐無量と云うべきであろう。哀歎を
こめ、悲喜に彩られた我々の歩いた道は
遙かなる将来に向ってのびている。
バストス有終の美の完成へ一世たち
は情熱を振り、勇気を鼓舞して邁進して
来た。およそ歴史を作るものの苦悩をい
やという程味わい、歯をくいしばって耐
えて来た。有終の美などという言葉
の幻覚に捉われることなく、ひたむきに歩
きつめて来たのである。或いは万身創
痍の人も出たであろう。或いは喪家の
狗となった軋々したもののあったであ
ろう。このような敗残の屍のりこえて
有終の美へまっしぐらに突入した勝者
も多かつたのである。バストスという一
団のコロニアを形成し伸長してゆく階級
に於ては戦争にまさる悲惨な痛ましい行
進もあった苦だ。
同族は扶け合い、非力なものは組合の
援助に励まされて、有終の美の行進か
ら落伍をまぬかれる組織ではあっても時
流に抗しかねる人もあった筈だ。こうし
てバストスの蒼生六百余家族はかにもか
くにも一年一年、歩一歩と前進を遂行し三
十八年の足跡をのこしたのである。
と、ここで我々が「有終の美」とい
何であるかが、終始一貫物事をなしとけ
ることに違いないが、個々の集団である
吾々一世の任務は大体二年後の入植四十
年を一期として歴史の達成期と見做して
もよいかと思われ。
しかし道は永遠につづく。次代を背負
って立つ人、地を嗣ぐ人たちの前には第
二第三の「有終の美」がその完成を待ち
受けている。バストスをより美しく(外観
より強く(経済)するのための仕事は無限
に続くであろう。一世の築いた地盤の上
に次代の建設を進め、金字塔を打ち建て
た古代民族のように父祖の地の顕揚を目
標として永遠の故郷バストスの建設に努
め、あと二年のうちには待望の会館も竣工

入植祭は大入満員

サーヴィスも行き届きま
せず、ご無礼で
ございました
何卒これにおこりなく

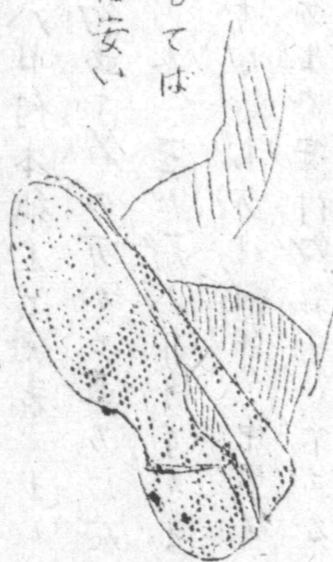


お食事とお泊り

HOTEL 'USSAMI'

ホテル
ウサミ
電話二二

Sapataria Bastos



早川靴店

十年もては
クツは安い
もの
どんなにあはれても
ひくともせぬ靴
するであろう。形而上の文化として一世
たちの位置の努力であるが、その他にも
畑中翁の胸像建設があり、バストスウ
ンボルとして、その眼光に狂いながら
めるために、バストスをして永遠の都と
して、より光輝あるものとした。
マツシヤードを振るってマツトを伐採
した時代からエンシヤードを通り馬新に

すがり、トラットールに変わつた農業の
 歴史も三十有八年をふりかえると隔世の
 感がある。今や有畜農一色に塗り替えら
 れたバスターは、これに伴う加工業時代
 に入らんとしてゐるが、この辺からが第
 二の「有終の美」の目標となり始めるの
 ではなからうか。

またまだ一せの実力は二十年三十年と
 尾を曳くであらうが、ここに二世三世の
 英後逸材と連合して事を興す時、バスター
 の将来は洋々たる希望の湧くのを覚ゆ
 る。現在経済界の大勢に押されて幾分活
 流化を阻害されてゐるかに見えるが、養
 鶏村としてかくの如く伸び、かゝる如く
 固まりつつある組織の強靱さと経産の豊
 富さを以つてすれば、景気は煩わされぬ
 健全さを發揮できるであらう。不況に対
 処できる実力、底力を養い合理的な経済
 組織を充分利用できるよう一層強化した
 い。

この理想を實現するためには特に精神
 的なるものが要求される。宗教は各自の自
 由であるが末世的利益の追求にのみ我を
 忘れることなく、永遠の都、永遠の故郷
 「バスター」にのみ湧き上るバスター魂の
 発想に徹し、自覚の、超宗教的運動の運る
 ことを必要とし、待望してやまないもので
 ある。

サンパウロ市の如き大都會に任められ、
 こゝで生れても故郷の觀念は余り薄くない
 という、故郷をばなれ何十万という同邦
 が伯國に住んでゐるが、バスター位「フ
 ルサト」の色彩に富んでゐる地は少い。
 「バスター」は移民の故郷入植祭、水仙子
 という句は蓋し名吟である。何か日本
 のフロンティアといつた錯覚さえ起るの
 は、やはり同肥集團の和合親もあるからだ
 ろう。そのよい処だけでも保持につとめ、
 永遠の故郷を繁榮すべく益々努力したい
 ものである。

御 礼

金一封

グロリア正区へ

長らく当区に御住いの処このたびシヤ
 ーカラ区に御移転されるに当り、お別
 れの印として右の如く御寄贈下さいま
 した。厚く御礼申上ります。

グロリア 正区 会計
 グロリア正区婦女青年団

グロリア区
 シーカラ区
 天野 昇 様

おねがい

昨年、日語普通会が父兄又は有志の方
 々に賛助会費を寄付していただきまし
 た。(本年二月上旬印刷物として氏名を
 発表して謝意を表しました) 昨年賛助
 会員になつて頂いた方から本年も引つ
 続き会員一口五ツトスを御願いたさ旨
 去る三月十八日付本紙上で発表しまし
 た。その節約四十名の方から直ちに応
 答が有りました。甚だ恐入ります。ま
 だ御寄付できないお方は何卒、中央区
 長橋 智氏方まで寄付額お届け下さる
 様御願ひ申上ります。用途は教材(机
 椅子作成費)です。

日語普及会長 小沢 将男
 副会長 長橋 智
 真木 謙吉

机を無断持出厳禁

取り教えず教室用机椅子を新調した処
 去る六月廿五日のバイレカイヒラの夜
 無断で持ち出し、月曜日になつても返却
 しないので授業にさしつかえを生じまし
 た。月曜日午後返しに来たが一台分不足
 してそのままだ。どなたが責任者か知
 りませんが、不足分返却を要求し、今後
 再び持出さない様に願ひます。

御 礼

一金 巻封也

御息女の結婚記念として前掲の全員
 御寄贈頂きました。ありがたく御礼
 申上ります。

グロリア 正区
 吉田 千衛作 様

一金 巻封也

故村上寿大様の香典返しとして前記の
 通り御寄贈の段、ありがたく御礼申上
 ります。

グロリア 正区
 村上 章 様

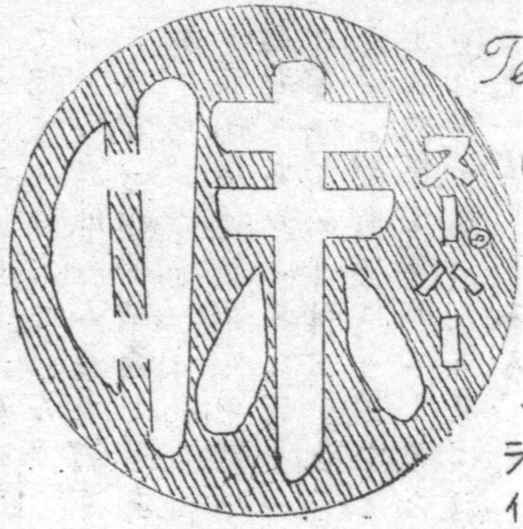
Temporo de Alta Qualida de 99.9%
 Glutamato de monosodio 99.9%
SUPERAGI

聖市ルアガルホンズエーノ 二一ニ番七階
 遠藤貿易株式会社

スーパー味 たべもの屋巡り

ビール工場のレストラン「ゴールド・アサヒ」

大森にこん典雅な落着いた店があるうとは知らなかつた。
 こういうレストランには珍しく料理の種類が豊富で、お値の割
 にうまい。あるいは宣伝をかねてのサービスであるうが、ビー
 フシチー(どはんまたはパンつき)二百五十円。
 チキンアラキング(クリーム煮、ライスつき)二百円。
 オイスターピラフ(いため煮)百五十円。カキのハフシエルが
 (カラつき)二百円。ランチデラックス(エビ、魚、貝サラダ
 ライス)が二百円。



家庭料理にストパ味を
 料理屋並みの味だと主人からほめ
 られています
 どの店にもあります
 麺類にはストパ味でー



訪日見聞録

九州観光

小澤勇

一九六六年三月廿一日、待ちに待った九州観光の途に上る。白雪に覆われた中山脈の連峰は晴れ渡った碧空に毅然として立並び、津山駅前の白梅と共に我等の前途を祝福する。
 汽車に乗り岡山駅で一時の待合せで、東京発長崎行き列車に座席指定券を持って乗る。途中停車駅は、福山、広島、徳山、小郡、下関、門司、小倉の七駅で、目的の福岡市に着くのである。
 見えたのは瀬戸の内海は雲一つない空を写して紺碧に澄み渡り去来する沢山の島影に内海にのみ見る風光の美しさを感ぜ、或る時は大工業地帯を突走り或る時は白砂青松の長汀曲浦を過ぎつつも昔のまま真帆片帆の見えないのに一沫の淋しさを感じつつ列車はひた走りに走り行く。長州平野の小郡駅に着く頃は、広い広い平野となり、その中に点在する小高い山々は丁度海に浮んだ島のように独特の様相を呈している。

此処まで長い旅程にも到る所ピニールで蔽われた簡易温室を無数に見る。何時とも知らぬ間に有名な関門海底トンネルに入り滑るように門司の駅に着く。北部九州は大工業地帯の工場の間から音に名高い若戸大橋のピンク色の美しい姿が見られたのは大きな収穫であった。壊滅の憂目を見たてあるう八幡製鉄所が勇ましく活動していたのは予期せぬ喜であつた。
 福岡市が近づく頃山桜が満開の顔笑みを以て歓迎してくれた。桜々々、実に三十年あつたがれのか、美しい山桜が「おばあちゃん、あれが山桜の花だよ。見たか、見たか」。あつた。あつた。予約してあつた。さくみ旅館に旅装を解く。
 日本全国の観光地は、沢山ある旅館やホテルは数十人、数百人の収容力を持つ。取れないで困り自分も二回宿がなく次の町へ電話して漸く宿にありついた経験が、此の観光シーズンには到る所宿泊所の困難であるう事を察し日本交通公社と相談して日程を作り、汽車賃、宿賃とも前払いで余約した。
 ホテルは洋室のみ所と洋室と和室と、和室のみ所と和室のみであるが、

1966年 六月分 バスツスの気温と降雨量

項目	気温℃	湿度%	最高気温	最低気温	降水量mm	風向	天気	雲量
1	19.0	76.0	28.0	10.0		N	○	
2	20.0	77.0	28.0	10.0		W	○	
3	20.0	76.0	28.0	05		N	○	
4	15.0	75.0	26.0	09		N	○	
5	18.0	74.0	26.0	07		N	○	
6	17.0	73.0	26.0	08		S	○	
7	19.0	76.0	27.0	06		N	○	
8	20.0	75.0	28.0	06		S	○	1
9	19.0	75.0	28.0	10.0		N	○	1
10	19.0	76.0	28.0	11.0		S	○	
11	21.0	75.0	28.0	15.0		N	○	
12	22.0	76.0	29.0	11.0		N	○	2
13	22.0	77.0	28.0	14.0		N	☑	3
14	24.0	79.0	30.0	17.0		N	☑	2
15	25.0	20.0	31.0	18.0		W	☑	4
16	26.0	27.0	31.0	15.0		N	○	
17	25.0	20.0	31.0	15.0		N	☑	3
18	23.0	20.0	31.0	14.0		W	○	
19	21.0	77.0	28.0	15.0		N	○	
20	22.0	78.0	30.0	14.0		N	○	
21	22.0	77.0	29.0	15.0		N	○	
22	22.0	77.0	28.0	17.0		N	●	8
23	22.0	77.0	30.0	18.0	3.5	N	●	8
24	18.0	77.0	26.0	15.0		N	●	8
25	21.0	79.0	29.0	12.0		S	○	
26	22.0	78.0	30.0	12.0		N	☑	3
27	23.0	78.0	30.0	16.0		N	○	2
28	24.0	79.0	30.0	15.0		N	○	
29	23.0	78.0	30.0	17.0	5.5	N	☑	7
30	14.0	72.0	16.0	14.0		S	●	
31							○	8
平均	21.0	76.9	28.2	14.3				

各々各室には湯殿便所洗面所が付属して、このさくみ屋旅館では、三人に対しては、学校であり此の道くには、或は文化財として保護

福岡市は築野大平野にある九州第一の交通要路を成す大石の礎石が点々と残り、都督の要衝であり神宮皇居の三隣征伐、豊臣府跡と大書した石碑は其の物語りを書き秀吉の朝鮮征伐の拠点となり、又かの叢林に大石碑二基と共に築野の一角に古の大軍を撃滅せしめた等日本最大の重政治を司つた昔のあしがしのげれる、要地点であったと共に鎮西の文化政治のあちらとちらに満開の山桜が春のよそ大中心地でもある。

廿二日夕クシーを古都太宰府に飛出す、車は九州縦貫の大道路を高速で進み行宮前であつた。朱塗の立派な大鼓橋を渡つて大きな神望見する頃運転手は戦後の様子を語り出し、現代二十才前の大木は、飛梅と名づけられ都から菅公を近時青年の気風を呼号し、責任感は無慕って飛んで来たと言ひ、築野の春を告げ、後に青年は自由を呼号し、責任感は無慕って飛んで来たと言ひ、築野の春を告げ、更に等しく愛国心は勿論のこと、最大の目的と、境内の梅の木は三千本に達するとか今世安月給取りになることを最大の目的と、境内の梅の木は三千本に達するとか今

おる者が多い事は実に残念だ、自分は彼は若葉の少し出た所だが梅林の花咲く頃れ等に大和民族は全世界に誇る優秀性のを思ひ、芳香たがよう中に鶯のさえずり所有者である事を力説し、これを自覚してを連想しては、俗に「石庭苔寺」と云われ、大いに胸を張つて歩くと云います、と、造園の妙と苔や芝生の間を通る道の白妙の意気やまことに荘とすべさである、

左手に水城の遺蹟が見える、水城は日の砂とは楓の大木と共に古鎌倉時代を偲本最古の築城で現在重要文化財だ、千二百年前からの築野に鳴り響く観世蹟の連続であり、中でも今は国宝館とな音寺の鐘は日本最古のものである。

毎日金の王子を産ませるには



トリニックスを処方通り飼

料にまぜて鶏に与えるだけでよろしい

養鶏の秘訣はトリニックスの給与第一

コリーザ・カゼ・コレラ・チブスなどの悪い病にかか
らせないように 予防と治療に

サナニックスを給与して下さい

サナ家畜製薬会社 聖市 ブラウリオゴメス街
二五番 十階

日本人部代表 藤 本 博

アルタ・パウリスタ

ソロカバナ

バストス地方

代理人

丸 山 敦

バストス電話 一五二 宅一六八

TORINIX SANAMIX

初期の入植祭の思出で

勝 甫

大戦中の三四年を除いては毎年入植祭を盛大に行ってきたが、我々古くバストスに住んでいる者にはこの入植祭はとりもたない楽しい行事は他にあるまい。

ブラジル中の日系コロニアで入植祭を行なわない所はないようだが、バストスの入植祭は他市のそれとは異なった雰囲気がか漂っているように思われるのは私とだけであらうか。

他市の入植祭は入植記念日を祝うと云う一つの儀式めいた式典であるが、おがバストスは最初から日系が主となり、慰霊祭、敬老会、演芸会などとさながら祖國の村祭的な分を再現せしめていたと思ふはバストス人としての自負心だけのものであらうか。

戦前の入植祭とカルナバルはバストス特色の日本色豊かな祭典として他市の追従を許さないものであったが、カルナバルの形は戦後復活することなく寂れてしまった。入植祭の催しものの中で一番人気のあるものは演芸会であらう。

戦前には古典歌舞伎などの上演に莫大の費用をけて祖國の劇場そのまゝに再現したものであった。

十周年の時には仮名手本忠臣蔵三四五六九段目、加羅千代萩、三勝の酒屋、寺小屋、御所桜三段目などと、とうてい素人には真似の出来ない芝居も上演した。

浄瑠璃はアルト区から故人となつた宮内柳糸太夫、市街地では朝日瀧門太夫、太棒三味線に川崎源之助師匠、背景はサンパウロから三角某氏という、大阪の中心で背景を描いて居たという人を雇つて来て一ヶ月余日を費した。

出演の役者達は大阪屋旅館へ泊めて夜と昼まなく猛稽古、又一方では、少女歌劇を上演する為によりリマ市から小林某と云う、海軍戸山軍樂学校出身の樂人を雇つて来て二十何名かの少女達が何ヶ月もの猛訓練と華やかな衣装で宝塚大劇場風景を背景に描写して成功した。

當時は芸能人も多く、今は故人となつたが、安部五郎氏の巖穴夫妻の太鼓と三味、ルゼリアアへ行かれた森勇蔵氏と共に下床のお囃子の擔擲と音むめがお祭り気分をいやか上にも盛り上げるに充分であつたし、又朝日氏宮内氏の上床の4人ボ語りに川崎師匠等のカミシモ姿の出語り、舞台の豪華さ、俳優の顔作りには、

日本で澤田正三郎一座の新劇団で、幾
 台の豪華さは大阪の中座の上方歌舞伎と
 彷彿と目かありたりに見る心地して、他市
 より見物に来た人々に感歎の声を放たし
 め、郷愁を充たしてあまりあるものがあつ
 た。この十周年祭の費用は十三コントス
 と云う莫大な金子を費して足りなく、朝
 日氏・善徳氏・筆者などが、雇って来た
 師匠太夫連中の飲み食い料から、送迎の
 自動車代などの残りが請求されて払われ
 されたことを覚えていり。

当時米一俵が百軒くらいであつたか
 ら、現在米の相場は約六千
 コントス位に在る勘定だ、しかも、野球
 と陸上の費用はここの中に入つていなか
 ったのである。

それはほどの大金をかけたの演劇にも、
 一ミルのうどん一杯を積古の夜食に当て
 られぬのみであり、当日の出演にも辨当
 持参で楽屋入りをした。

衣装の着付の手伝方から舞台装置の人
 や幕引の人まで一緒になつて楽屋で辨当
 食へ、演芸が終つて役員達と賣店で暖い
 うどんをすすつた。

こうして費用の大部分は衣装と舞台に当
 てなければならぬ、古典演劇も其後一二
 回催したが、その規模においては比較に
 ならぬいほど寂れてしまつた。

その時の少女歌劇の楽団が現在のひげ
 り楽団の産み親であることを知つて、い
 り者も少なくなつたと思ふ。

古典歌舞伎のほうは、俳優達が故人と
 なつたり、移転したりして現在では化境
 方として長年骨を折つて下さつた間野氏
 と筆者と只二人だけ残つてゐるに過ぎぬ。
 豪華絢爛たる歌舞伎とか、絵巻を繰り
 展げるような少女歌劇を今一度上演する
 ことは到底不可能なことであらうが、他
 市の入植祭のように、学生が行進と、バ
 ンケツを盛大に聞くと、いふよりなもので
 なく、子等の滞省や親戚とか友人を招い
 て二日か三日のお祭り気分はバストスの
 名物として永久に伝へたいと思つた。

家庭の事でやむなく退植された人達が
 このバストスを古郷として、この入植祭
 に集まつて来るのを望むと、出稼に行つて
 いた者がお祭りに帰つて来たように嬉しい
 。又バストスと嫌つて出て行つた人達も
 成年の経つ間にバストスが恋しくなつて
 お祭りに来てゐるのに逢うと家を出した
 放蕩息子が帰つて来たよう気がして胸が
 詰らほと嬉しくなるものだ。

明後年は四十周年だ、今から計画を建
 て、他カコロニアの人達を、と驚かす
 ほどの祭典を準備して頂きたいものだ。

AUTO-PECA-ELETRICO

M. Oyamada

小山田実
 みのる

郵便 五五八
 電話 三九三

ツパン市
 ルア・カリージョス
 セー

RUA. CARIJOS 71
 FONE 2393
 POSTAL 558
 TUPA

電気器具材料一切
 自動車発電機 モートル
 モートルの巻替
 コンセルト
 迅速丁寧
 御用命下さい

開業早々
 好評噴々

整体術

新式 指圧

祝入植祭

諸病難病にてお困りの方に告ぐ

産後の肥立 身体の疲れ

肩のこり 神圣痛

などでお困りの方は早く
 お出で下さい

最近日本より輸入の電気治療器
 電気針にて特別治療もいたします

場所 バール・フリベイラの裏側
 崎田家の向側

榎 はやの

死亡通知並に会葬御礼

夫清川宇之吉(76)儀予ねて病氣療養中の処
 薬石の効なく去七月九日午十一時ツパン
 サンタカーザに於て永眠仕り翌十日午前十
 一時自宅出棺バストス墓地に埋葬仕りました
 此儀生前辱知各位に謹告し併せて御懇篤
 なる御見舞を深謝申上ます
 なお葬の節は御多忙遠路態々御会葬下さ
 れその上御丁重なる香料花輪なと御賜供
 り御芳志ありがたく御禮申上げます一々
 回礼に上るべきですが取込中につき御赦
 しを頂き紙上を以て厚く御申し上げます
 一九六六年七月十一日 中央区

喪主

- 妻 長男 清川 清
- 長男 三男 清川 清
- 次男 長女 清川 清
- 三男 長女 清川 清
- 四男 長女 清川 清
- 五女 長女 清川 清
- 六女 長女 清川 清

親戚

- ツパン市 マルチンホリス 草野 薫
- 友人 伊勢 忠雄
- 長瀬 静枝
- 西重 信正
- 森谷 実
- 新谷 信
- 木口 シヨシ
- オレス テス

- バストス連合仏教会様
- バストス連合仏教婦人会様
- バストス仏教婦人会様
- コチマ産業組合様
- 橋本製絲様
- ツパン市 シーマグラス様
- バストス中央区二組ウニ様
- 州立中学三年生御一同様
- バストス知友各位様

かえるのおへそり
 それでなくともえホコリの多い春先に
 車がビーンと追抜きざま、モーターたる
 ぼこり。
 ひと雨降れば降ったで、こんどはマキ
 コノの水たまりを、またぞろ車がバシヤ
 ばかり、容赦なく泥水をひっかけ行
 やがる。
 ほんとまあ無神経な野郎ばかりなんだ
 と思うが、どっこい決してそうじゃない
 彼らの車同士、何かの拍子でチヨイと
 接触もしてごらん。
 とたんたんにキュツとブレキをふんで、
 目の色変えて飛びおりて、自分の車のス
 ミからスミまでなめるように見回したあ
 げく「あ、ここんとこ。こすった。ホラ
 ン、これ。どうする、おい」
 なんてわめき散らす。
 さて、どんなにかすかとみれば、ナメ
 クジが逆立ちを歩いたくらい跡しかな
 い。
 自分の車にはこれほど神経を使うんせ
 に、ひとさまの頭からホコリや泥水をひ
 っかけるほうは、てんでおかまいなし。
 うっかりバシヤとやつたら急ブレーキ
 をかけてさ、顔色変えて飛びおりて、相
 手服のウラオモテ、じつくり調べたすえ
 あ、これ、このスカート先の先、ちよに
 ポツンとある、この黒い。これ、私が
 今ひっかけた泥水です。申訳ない、とかな
 んか、一度でいいからいつて見ろ、てん
 だい、やいこのがりがり亡者どもめ

東北辨の芝居

或る町に入植祭の芝居の稽古が始まっ
 たが、芝居は歌舞伎の千代萩の御殿場、
 愈々幕切れの荒石男之助(松前鉄之助の
 相模名)が床下で、二本正が妖術で化け
 た大嵐を踏みつけて、「あ、うと思議やな
 あ、殿守のあるもいざ知らず、御寝所間
 近く窺い寄ったる大嵐、うぬも只の鼠
 ではあるまい、かく申すをれがしは、奥
 州出羽ニ々固に於て力士と呼ばれし荒石男
 之助、腕に覺之の力こぶ、鉄扇喰らわぬ
 その内に、さりきり此の家を立ち去りお
 ろう、あ、ら、取り逃したか、口惜やな
 あ、と、いう名台詞だが、この役者東北辨
 まる出しにやり出した。
 「あ、ら、フスギなや、殿守のあるもいざ
 スラズ、窺けえ寄ったる大ニジミ、うぬ
 も只のニジミでわあるめえ、かく申すソ
 レカス、は、オオス、ら、出羽ニ々固でリキスと
 呼ばれし荒石男之助、腕に覺之の力こぶ
 鉄扇喰らわぬそのうちに、さりきり此
 家を立ち去り居ろ、や、トリ、ニ、ガ、ス
 タカ、クツ、オ、ス、ヤ、ナ、ア、と、きた。終

女の話

乳腫らす

「あーれ、お出かけかね」
 「ああ」
 「この時間だと、上りの一番かね」
 「ああ」
 「だけでも、国鉄運賃があがってから、
 バスと料金かわらねえやうにやわねえか、そ
 れでも上りの一番かね」
 「ああ」
 「町にたにしにいんか？」
 「県庁にも行かなさやなんねえし、いそ
 がし、いや、県庁だなんてうまいこと言
 ってる女の女をかもうたらお春坊に言つけ
 るぞ、と、にかく匠者にも寄んなさやな
 んねえし、ふん、どん、な、案配だ、乳を腫し
 ちやっよ、もんでやろと思っても痛がる
 もんだから、少しさわりますさ、たんじやね
 えのか、」
 「そりや、あ、毎日どうしたってさ
 ら無理もねえけど、上、」
 「若けえ夫婦だか
 ら新田のおおげさん、なに勘違いして、
 だ、」
 「お春坊が乳を腫らしたんだろ、
 一、冗談トやねえ、乳腫らして痛がって、
 るのはホルスタインの乳牛、だ、上」
 「の、」

土地売り度し

場所 カスカッタ区 入口 飛行場より
 ニキロ半
 面積 ハアルケール
 地形 ほとんど正方形 水利便最良
 果樹 四年もの以上八年生まで 一、二〇〇本
 ポンカン 二年生以上 三年生 一、二〇〇本
 バスト 五アルケール セルカード
 住宅と倉庫 二
 本細面談の上御便宜に取り計います
 富山 太

Foto Shimamoto



上品なフォト
 柔軟な感じ
 リアリズム的
 微したフォト
 フォト シマモト
 電話 六三三

バストス警察署御指定願書用フォトは当館へ

鉄筆

世の中に「たやすしい仕事」というものは恐らくないだろう。どんな仕事でも一流になるまでには相当年期を入れぬと物にはならない。

たとえは今私がやっている鉄筆にしたところから、こんな簡単なことが中々いふことをきかす。よほど腕に力をいれ精神を集中していないと、僅か五分間に足りないようなフテヨコの線が思うように引けない。ましてやひとさまに見ていたところというふうな字が書けるまてには容易ならぬ努力がいる。日本には鉄筆講習会とかいうものがある。半歳以上いこうと、どうやら四角い字が書けるようになるさうだ。私は週報をはじめめてこれ十四年にならるが、古い印刷物を見ると、身の毛がよだつ思いがする。普通のペンや筆で書けばもう少し気のきいた書体の字が書けると思うが、鉄筆だと実に味の無い、かたも講習を受けたこともなく、いきなり本番をやったのだから、うまく書ける筈はない。毎日のように書いていて、少しも上達せぬのだから自分ながらいやになる。先般ドエントをやり二週間以上鉄筆が持てなかつたが、その後強引に書きつづけてるうち、だんだん苦痛でなくなつた。しかし少しし身体を休ませる必要があるのだ。遊びに来られた宮武さんを延べ、いやだといふのを無理やり口説きおとし、二枚書いてもらった。刺れぬ仕事だからいやがるのは無理もない。はじめのうち、はたと書いても印刷して見ると、チンタの出がわるくて読めたものではない。ところが宮武さんの手は、チンタもよく出るし、細字も可なりよく出来ている。宮武さんは三味線まで自分で作る位器用な人だから、鉄筆のいなし位わけは無い。だが、私が私に苦人だとうりの苦しみを味いながら毎週原紙を七八枚はこなして、くれるので、それだけ私の身体はらくさす。ことになるわけだ。私はひとさまの死と生を今まで可なり書いて来たが、自分の死亡通知は自分で出すわけに行かず、内バ固つていたが、宮武さんの出現により、その悩みは解除されたわけだ。近いうちに霜出老と相談の上、香奠なりと生前に黄いに歩かうと思つている、その節はよろしく。

御礼

金一封
故村上寿太様の香奠返しとして前掲の金員御寄付誠にありかとうございまして
ハストス 岡山県人会
村上 章様

西本願寺小原開教総長

- 歓迎講演会 寄付御礼
- 金五コトス也 吉田年三吉様
 - 金五コトス也 栖原義一様
 - 金五コトス也 吉浦秀次郎様
 - 金五コトス也 桑原久次郎様
 - 金五コトス也 若野耕一様
 - 金五コトス也 水本彰様
 - 金五コトス也 池立雄様
 - 金五コトス也 池野信次郎様
 - 金五コトス也 京野万治郎様
 - 金五コトス也 松森道威様
 - 金五コトス也 吉田多作様
 - 金五コトス也 フルト宮崎将規様
 - 金五コトス也 石橋長見様

右之通り御礼申上げます
ハストス仏教会々計 杉山

日本語を学ばせましょう

時間 朝八時〜九時
昼十一時半〜十二時
夜七時〜八時
(アシミツソンの生徒たちのため)

毎土曜日午後二時からソロバンを教えます。希望の生徒はソロバンをしましよ。
子供は、大てい遊ぶことが好きです。少しの時間を利用して日本語を学ばせまじよ。
決してベカードではありませぬ。
○授業時間は毎回一時間半

死後のこと
しみじみ思う事となり
夜更けの車に
ひとり人酒くむ
糸音

七月十八日(月) 十九日(火) 二十日(水) 三日と夜八時

東宝三十周年記念
花の巻 雲の巻 コロロド
忠臣蔵 稲垣監督 加山 小林 松本 加東 新珠
三船 原 空田 木暮 池部

七月廿二日(金) 二十三日(土) 八時 九時半
O homem de Karlo

東映 関東流れ者 鶴田浩二 大木実 小山明子 藤 純子
コロン 山城新伍 皆根晴美 中田マユ子 中田マユ子
ぐれて流れてすえいそも男の魂 売っちょいねえ 振興映画十八番に傑作!

七月廿四日(日) 九時半 廿五日(月) 八時
Pela honra do Brasil

東宝 十兵衛暗殺剣 林真一郎 岡田千代 大友柳太朗 十八才以二
スコーラ 河原崎三郎 宗方奈美 近藤十四郎
剣林血路を断つ。 走れ十兵衛! 柳生一門の興亡 賭ける 惨なり湖上の死斗

七月廿六日(火) 廿七日(水) 西夜とも八時
日活 帰郷 土谷和子 高橋英樹 リーブル
スフロロト 高橋英樹

七月廿九日(金) 八時 三十日(土) 九時半
Tapas Paraiso

松竹 につぼん ぼらだいす 香山美子 加藤まり子 勝呂 崇 十八才以二
木下徳田 長門裕二 加東大助

七月卅一日(日) 八月一日(月) Resafiando o perigo
松竹 殴り込み侍 長門 勇 大友柳太朗 山方克己 十四才以二
野田子子 小畑 祐子 中村 祐子

斬れ! 走れ! 血しぶき浴びて翼が原
大人 満員 御礼

Aviso de Cine - Bastos

御 礼

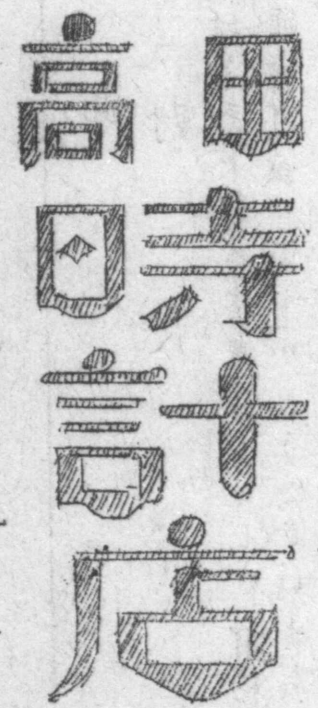
去る七月十六日十七日両日、バスト
ス三十八周年祭をスタを執行致しまし
た処、文化協会につらなる各役員方ま
はじめ、それぞれ部門で十二分の活
躍を願いました方々並に演芸会出演の
各位に深甚の敬意を表します。
毎年の入植祭フェスタが逐年洗練されて
参りバスト入植祭の名が全伯的に高
揚されますのも痛えに各位の一致協力
に負う処多大なるものあり、大いに意
を強く次第であります。何かと手落ち
の多かったことを改めてお詫び申上げ
ます。

七月十八日

バスト入植三十周年祭典委員会

- 会長 前山 義雄
- 副 山 中 三 郎
- 橋本 田 正 雄
- 橋本 光 義

Relojaria Takata



高田で買えば安い。
みやげに買って帰る
時計や貴金属、コピワ
めがね エトセトラ
何でも安い。サンパウロ
より安い!
何故でしょう?

ロドリオオリオ 前

電話 九十三